

第4回介護・医療連携推進会議 議事録

日時：平成26年12月17日（水）10：00～11：30

場所：ザタワーズイースト 3F I-link ルーム 1

1.開会

(1) 市川市福祉公社常務理事より挨拶

- ・開会にあたり定期巡回随時対応型訪問介護看護事業の現状を説明

(2) 委嘱状交付

- ・市川市福祉公社常務理事より「利用者家族」1名に交付

(3) 委員等自己紹介

- ・委員

地域住民代表者（藤城委員）、市川市職員（駒田委員）、地域包括支援センター職員（岡野委員）、地域医療関係者（四ツ屋委員）、当該事業に知見を有する関係者（村上委員）、利用者家族（宮●委員）

- ・オブザーバー

市川市介護保険課（松原様）、東電さわやかケア市川（宮井様）、セントケア市川（吉田様）、シルバン介護センター（佐藤様、高橋様）

- ・事務局

常務理事（下川）、事務局長（高久）、事業管理者（内野）、計画作成責任者（平野、阿部）、リーダー（土井）、オペレーター（西田）

2.サービス提供状況報告・お客様の状況

- ・事務局（阿部、西田）より利用者数の推移や派遣回数及び通報回数、サービス状況、お客様の状況等について資料をもとに説明した。

3.ご利用者代表紹介

- ・事務局（内野）より、今年11月よりご利用されている宮●様のご家族と担当ケアマネジャーの宮井様をご紹介します、ご意見・ご感想をいただいた。

<宮●様>

- ・家族が膀胱炎で8ヶ月程入院していた。尿意があったときに、トイレに行けるように、住宅改修を行いトイレを増設した。ベッドから車椅子でトイレやポータブルトイレへ移乗をお願いしている。

<東電さわやかケア市川（宮井様）>

- ・退院が決まりそうな時に、本人のご希望を聞き、今までのヘルパーで慣れた方をお願いしたいという話だったが、莫大な金額になる為、定期巡回サービスのメリット・デメリット

を表にして説明した。理解をしていただいた上で、サービスを開始した。ご本人としては、まだ満足されていない事もあるのかもしれないが、ご本人もご家族も理解し、サービスをご利用されていると思う。

4.前回の課題及び今後の課題について

- ・事務局（内野、西田）より定期巡回事業への契約状況やPR活動、人材確保や訪問ルートについて説明した。また、市川市介護保険課と連携で、事業周知のことや喀痰吸引研修について、駒田委員より以下の説明をしていただいた。

[喀痰吸引研修について]

<駒田委員>

- ・喀痰吸引の研修について、施設優先ではなく平等に研修を受けることができるよう、市より県のほうに要望をした。今後も、機会あるごとに要望を続けていくので、急には難しいかもしれないが、市川市の介護保険課も動いている。
- ・事業周知については、市の公式 Web サイトや、ケアマネージャー研修会等で提案することを検討している。

■サービス提供状況報告、お客様の状況について感想及び意見

Q<村上委員>

- ・排泄介助に合わせ流動的に対応する上で、人の手配に苦勞されていないか？

A<事務局 内野>

苦慮している。夜間は巡回職員で対応している。日中は直行直帰のヘルパーで柔軟に対応しているが、夜間は、希望時間通りにならない時もある。

Q<村上委員>

人の確保というところで学校に訪問されているのは福祉科のある高校のか？

A<事務局 内野>

・県内に何校かあるが、基本的には、弊社に近いところにある学校で福祉科のある高校である。介護福祉士の受験ができる学校と2級ヘルパー実習受け入れを行っていた高校に出向いた。福祉科を卒業しても福祉に就職する人は少なく、1クラス10名位だが、その中の1人でも在宅を選んでくれる働きかけをしていかないといけないと思う。

<四ツ屋委員>

- ・E様の訪問回数を6回から4回に減らせたことは、とても凄いことであり、努力が見られる。

Q<岡野委員>

- ・夜間の職員間・ケアマネージャーとの連携が難しいと思うので、工夫している点を教えて欲しい。

A<事務局 内野・阿部>

- ・通報内容は、FAXで報告を必ず行う。また、日頃の様子と異なる点等あった場合、朝礼・夕礼で訪問時の状況報告を行い、共有を図っている。その際、ケアマネージャーへ報告したほうが良いと判断した場合、適宜連絡をしている。

Q<駒田委員>

・お客様の状況のところ、訪問看護ありの方が多く、どのような内容をしているのか。

A<四ツ屋委員>

・最初にアセスメントをした時に、病状や介護の不安の相談など、訪問看護として月1回のアセスメントをする。また、定期的に訪問し、健康状態の観察、療育・介護相談や精神・心理的な看護、医療処置を行っている。

<宮●委員>

・市役所からいただいた「やさしい介護保険」というパンフレットの最終ページに小さな文字で定期巡回・随時対応型訪問介護看護と書かれている。良いサービスなので、もっと大きな文字で書いた方が良いと思う。

<藤代委員>

「やさしい介護保険」のパンフレットをもう少しわかりやすくしたほうが良いと思う。

10月31日に県の介護予防支援会議に行った時に、喀痰吸引の研修の件を県の介護保険課に各行政からの要望に即対応して欲しいと伝えたが、すぐ実行できるか不透明だ。また、12月17日の朝刊に介護報酬引下げと記載されており、1月に予算編成、4月に実施予定みたいだ。

・サービス提供状況報告については、今まで通りお願いしたい。

■前回の課題及び今後の課題について感想及び意見

Q<岡野委員>

・契約までにタイムラグがあるということだが、パンフレットの修正は既に行われていると思うので、ケアマネージャーがわかりやすいように、メリット・デメリットを乗せたパンフレットがあれば、タイムラグが減ると思う。

・事業周知の件ですが、明日、認知症カフェ(認知症の方、介護されている方、興味がある方、障害者の方等が集まる)を大洲防災公園で開催するので、声をかけていただければ、事業紹介する時間はとれると思うので活用して欲しい。

<藤城委員>

・前回の課題及び今後の課題については、引き続きお願いしたい。

6. オブザーバーより質疑応答及び感想

<シルバン介護センター 佐藤様>

在宅に居ながら、コールを押せば来てくれるというのは、サービスとして必要と思うが浸透していないと思う。

<シルバン介護センター高橋様>

通報に対する対応が、顔が見えない中状況を判断する苦労があると思う。

<事務局(内野)>

・メリット・デメリットを乗せたパンフレットは早急に作りたいと考えていますので、しばらくお待ちください。

・在支、包括・介護保険課と連携を図りこの事業を勧めていけるようご協力をお願いしたい。

上記の通り、委員の方やオブザーバーの方より頂きました、貴重なご意見を元に今後とも取り組んでまいります。

長時間にわたり、ありがとうございました。

以上

文責：市川市福祉公社

地域密着課 西田